

株主メモ

- 事業年度……………毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会……………毎年6月開催
- 基準日……………定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日
 (中間配当をする場合)
 その他必要ある場合はあらかじめ公告して基準日を定めます。
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関……………東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所……………東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先)
 (電話照会先) ☎0120-782-031
 (インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- 公告掲載新聞……………日本経済新聞
- 上場証券取引所……………東京証券取引所JASDAQ市場(スタンダード)
- 証券コード……………9036

株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
 アクセスコード 9036


いいかぶ

検索

 空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。 **ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます**

 ※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
 「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

HP案内

当社では、株主・投資家の皆様および一般の方々に当社の事業活動についてよりご理解いただくため、ホームページ内でさまざまな情報を掲載しております。当社ホームページアドレスは以下の通りです。

PCサイトはこちら

<http://www.tohbu.co.jp>

モバイルサイトはこちら

<http://www.tohbu.jp>



IRサイトはこちら

<http://www.tohbu.co.jp/ir/highlight/>



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



株主通信 第104期

平成28年4月1日から
平成29年3月31日まで



バラセメントトレーラー車両



ハイテックローリー車両



ケミカル車両



ウイング車両

環境にやさしい物流企業



東部ネットワーク株式会社

証券コード：9036



代表取締役社長

若山良孝



総合物流企業としてのワイドな取り組み。 「東部ネットワーク」の多彩な事業フィールド。

「東部ネットワーク」が展開するビジネス領域は、現在4事業5部門。
広い視野で積極的にビジネスを開拓しながら、同時に確実な収益性や効率性を追求。
着実な事業の多角化を推進しています。

当期の業績について

株主の皆様には、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに第104期期末の株主通信をお届けするにあたりまして謹んでご挨拶申し上げます。

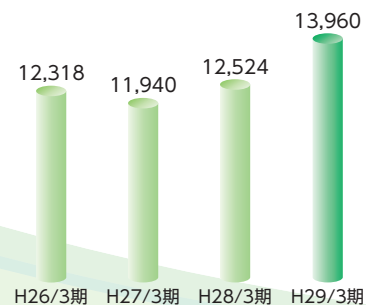
当事業年度におけるわが国経済は、政府による経済政策等により、企業収益や雇用環境の改善が見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、中国を始めとする新興国経済の鈍化、米国新政権の政策運営の変化や欧州の政治情勢などの影響により、先行は依然として不透明な状況が続いております。

こうした状況の中で、当社は、より良い物流サービスを提案、提供し、既存荷主との取引拡大と提案型営業による新規開拓に積極的に取り組んでまいりました。また、不採算営業所の用途変更に伴い減損損失を計上いたしました。今後は賃貸施設として有効利用していく考えであります。

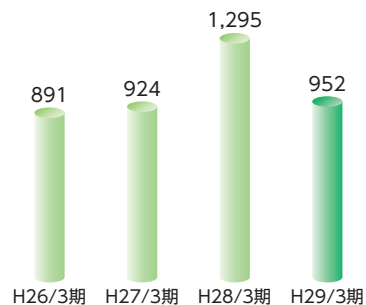
以上の結果、当事業年度の売上高は139億6千万円（前年同期比11.5%増）、営業利益は前期導入した車両償却費の負担増等より9億3千9百万円（前年同期比24.2%減）、経常利益は9億5千2百万円（前年同期比26.5%減）、当期純利益は6億4千7百万円（前年同期比31.8%減）となりました。

業績ハイライト

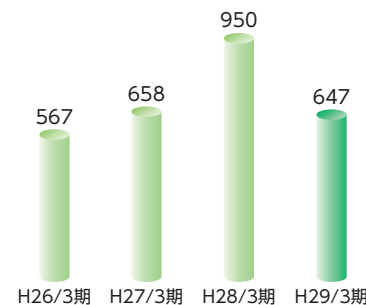
■ 売上高(百万円)



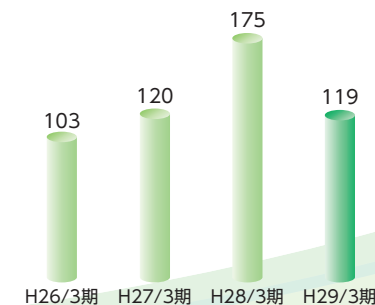
■ 経常利益(百万円)



■ 当期純利益(百万円)



■ 1株当たり当期純利益(円)



平成29年3月期の業績	
売上高	13,960 百万円 (前年同期比11.5%増)
営業利益	939 百万円 (前年同期比24.2%減)
経常利益	952 百万円 (前年同期比26.5%減)
当期純利益	647 百万円 (前年同期比31.8%減)

基本理念

私たちは総合物流企業として物を
安全・確実に運ぶことを使命とし、
経済・社会の発展に貢献する

市場動向について

当業界におきましては、内需の低迷により総輸送量は伸び悩み、燃料価格は上昇傾向に転じたことに加え、慢性的なドライバー不足の問題も抱え、引き続き厳しい経営環境下で推移しております。

今後の見通しについて

今後の景況につきましては、国内においては企業業績等の改善により、景気は緩やかな回復基調が続くものと思われませんが、一方で為替や原油価格の動向などにより先行きの不透明感も残り、今後も不安定な状況が続くものと予想されます。

このような環境のもと、当社は関西地区への3PL事業（物流の一括受注）の進出を目指し、新輸送システム等で新規荷主の獲得に加え、業務提携社とのつながりを強化し、事業の拡大につなげてまいります。

経営方針

1. 創意工夫に努め、自ら未来を創造する
2. 現場第一に徹し、新たな価値を創造する
3. 挑戦する気概を尊重し、人材育成に力を注ぎ、夢と誇りある企業創りを目指す

また、戦略的投資を一層推進し、新規取引先の開発に努めてまいります。

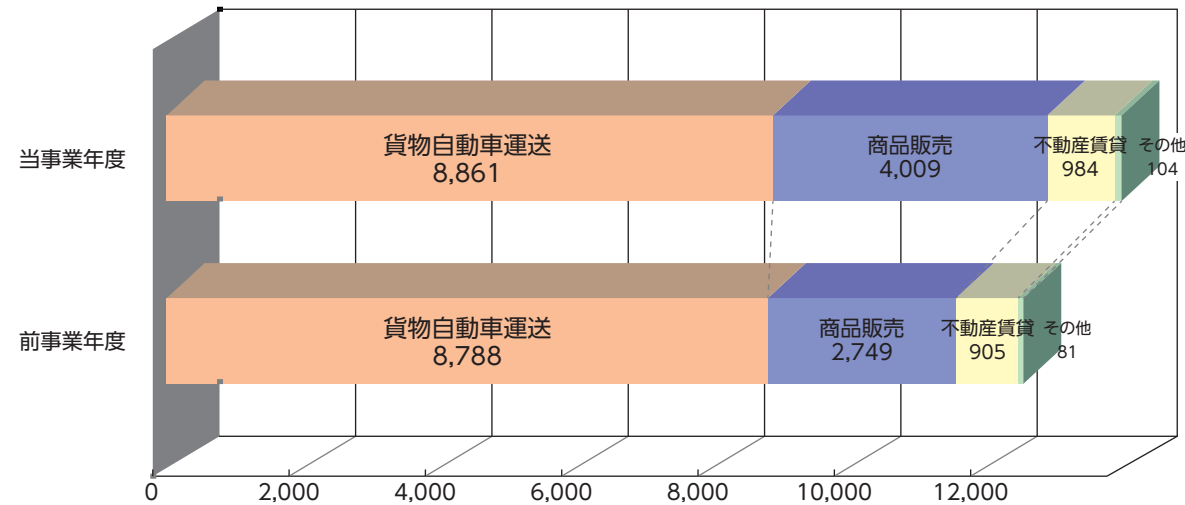
業界全体の課題でありますドライバー不足に関しましては、宿泊を伴う長距離輸送をトレーラーによる貨物のパトントッチリレーで近距離輸送に変え、毎日帰宅が可能なスワップ輸送システムを拡大することで労働環境の改善を一層推し進め、更に乗務員の待遇改善の一環として、社員評価制度を抜本的に見直すことでインセンティブを拡充し待遇改善を図ってまいります。

商品販売事業につきましては、主軸となっている石油販売に加え、一般リース業への参入を拡大し、新規商材の開発を積極的に展開することで新たな事業展開を開発してまいります。

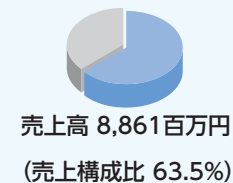
事業の概況

〈セグメント別売上高〉

単位：百万円



貨物自動車運送事業（前年同期比0.5%増）



- ◎ 第1営業部門
 1. 飲料輸送は、主力荷主が在庫保管コストの合理化を継続しており輸送量は減少しましたが、酒類、飲料、メーカーの製品輸送の取込み拡大等により輸送数量を押し上げ増収となりました。
 2. びん・容器輸送は、国内需要の減少傾向に加え、採算重視の輸送体制のため車両配備を見直したことから、輸送量が減少しましたので減収となりました。
この結果、第1営業部門の売上高は、前年同期比0.5%増となりました。
- ◎ 第2営業部門
 1. 石油輸送は、新規業務提携効果もあり増収となりました。
 2. セメント輸送は、セメントメーカーの公共工事による需要増に加え、新規受注を取込みましたので、輸送量が増加し増収となりました。
 3. その他輸送は、小型車の専属車で減車要請がありましたので、減収となりました。
この結果、第2営業部門の売上高は、前年同期比2.4%増となりました。
- 以上から、当貨物自動車運送事業の売上高は、関連業務の荷役・保管作業収入を含め、88億6千1百万円（前年同期比0.8%増）となりました。



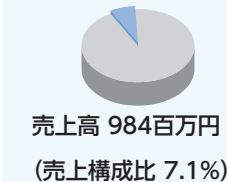
商品販売事業（前年同期比45.8%増）



- ◎ 1. 当事業の主力販売品である石油製品は、大口取引先の需要に対応した結果、大幅な増収となりました。
- 2. セメント販売は、安定的に推移したことから増収となりました。
- この結果、当事業の売上高は、40億9百万円（前年同期比45.8%増）となりました。



不動産賃貸事業（前年同期比8.7%増）



- ◎ 1. 自社施設の提供は、一部の施設で賃貸料改定等がありましたので減収となりました。
- 2. 借上施設の提供は、厚木施設の返還により減収となった一方で、飲料メーカー向けの臨時倉庫の稼働及び物流センター契約満了に伴う倉庫賃貸収入が当事業に加わったことにより増収となりました。
- この結果、当事業の売上高は9億8千4百万円（前年同期比8.7%増）となりました。



その他事業（前年同期比29.0%増）



- ◎ 1. 自動車整備事業は、車検整備受注減により減収となりました。
- 2. 派遣事業を1月より新たに加えました。
- この結果、当事業の売上高は1億4百万円（前年同期比29.0%増）となりました。

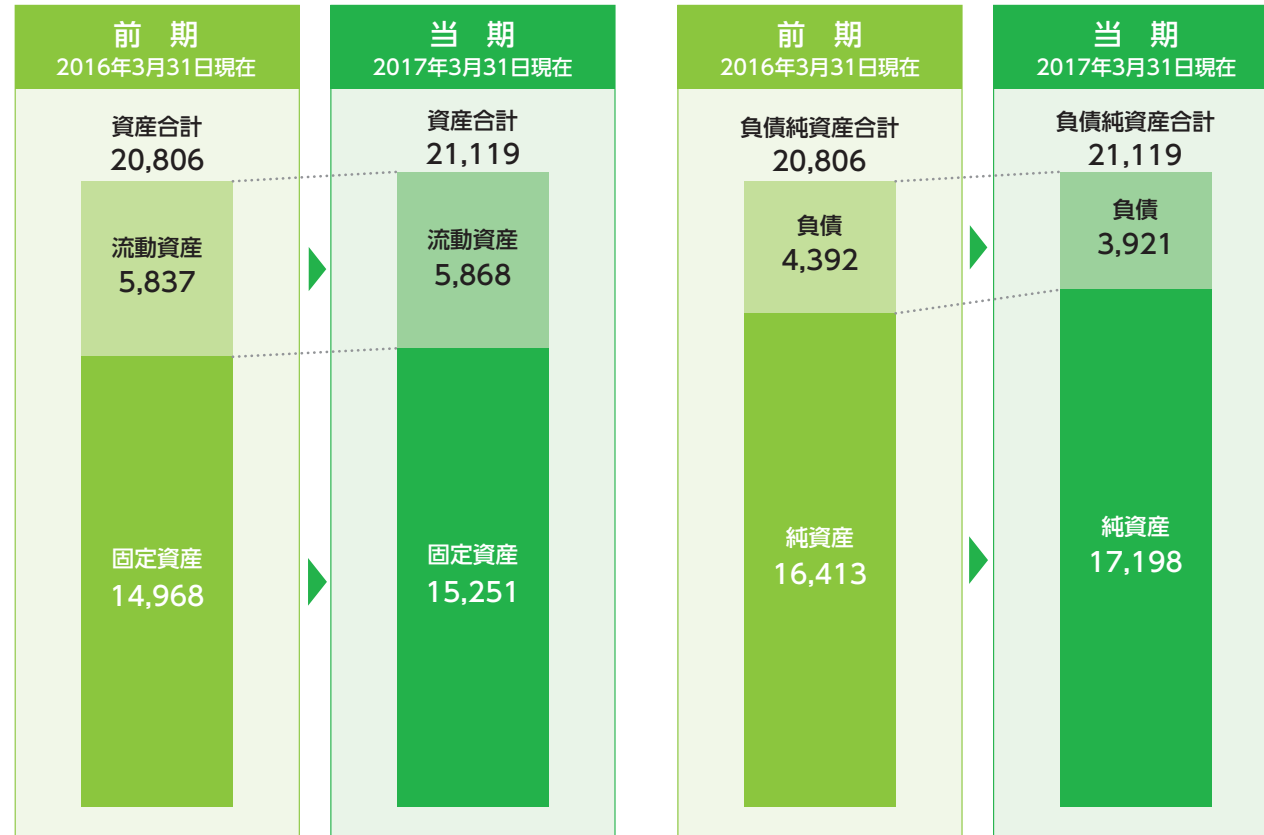


設備投資および資金調達の状況

当事業年度における設備投資の総額は6億8千万円で、内訳は有形固定資産6億6千5百万円、無形固定資産1千4百万円であります。有形固定資産の内訳は、大井川営業所建設4億4百万円、業務用車両29台、デジタルコ357台分、1億1千6百万円、海老名第二駐車場拡張工事1億1千2百万円、情報連携システム端末1千8百万円等であります。無形固定資産の内訳は、デジタルコ連携勤怠管理システム1千4百万円等であります。尚、所要資金は全額自己資金で充当しております。

貸借対照表の概要

(単位：百万円)



POINT

●資産

当事業年度末の総資産は、21,119百万円（前事業年度末20,806百万円）となり、313百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が84百万円減少した一方で、上場株式の時価評価等により投資その他の資産が363百万円増加したことによるものであります。

●負債

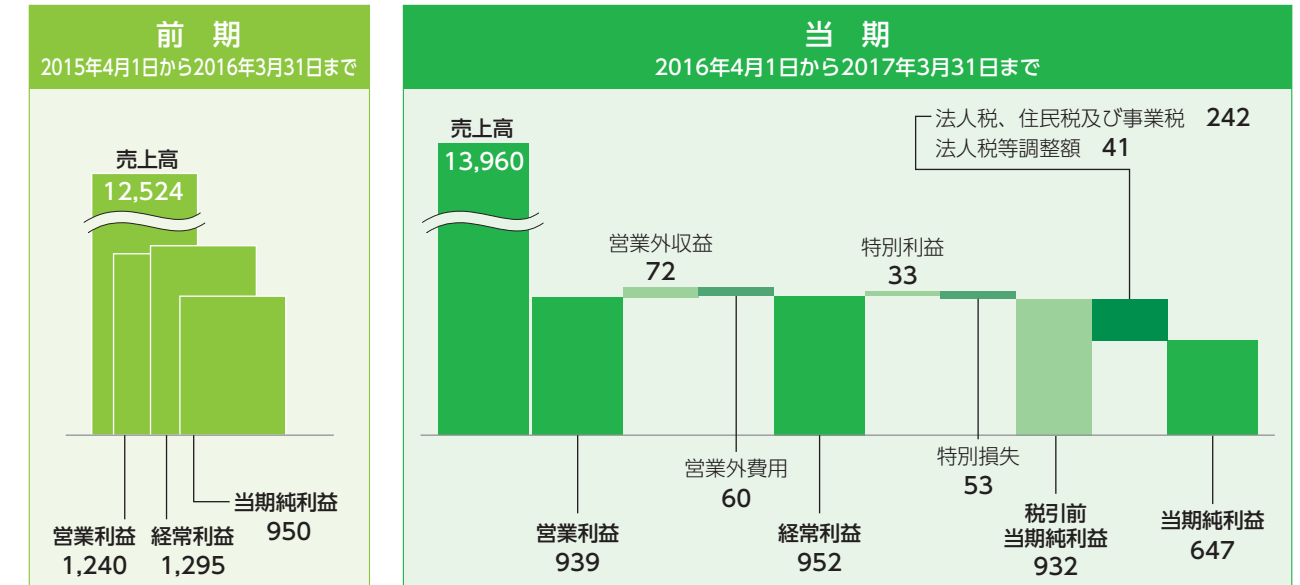
当事業年度末の負債合計は、3,921百万円（前事業年度末4,392百万円）となり、470百万円減少いたしました。これは主に、未払金が284百万円、未払法人税等が232百万円それぞれ減少したことによるものであります。

●純資産

当事業年度末の純資産合計は、17,198百万円（前事業年度末16,413百万円）となり、784百万円増加いたしました。これは、当期純利益647百万円および剰余金の配当81百万円により利益剰余金が566百万円、その他有価証券評価差額金が217百万円それぞれ増加したことによるものであります。

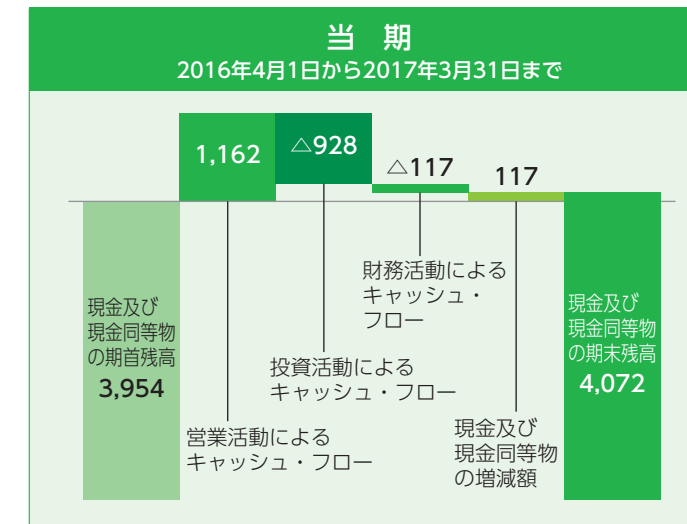
損益計算書の概要

(単位：百万円)



キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



POINT

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ117百万円増加し、4,072百万円となりました。

●営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、1,162百万円（前年同期比0.5%減）となりました。主な増加要因は、税引前当期純利益932百万円、減価償却費750百万円、主な減少要因は、法人税等の支払額479百万円などによるものであります。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は、928百万円（前年同期比32.3%増）となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出931百万円などによるものであります。

●財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果支出した資金は、117百万円（前年同期比6.6%増）となりました。主な減少要因は、配当金の支払額81百万円などでありました。



第11回TN輸送協力会開催



旧大井川営業所施設の不動産賃貸開始



海老名第二駐車場拡張工事完了



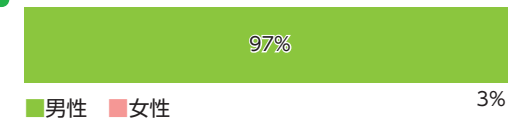
平成29年3月 東部相模原物流センター始動
相模原のテナント型大型物流施設内にて荷役作業開始

株主の皆様、アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

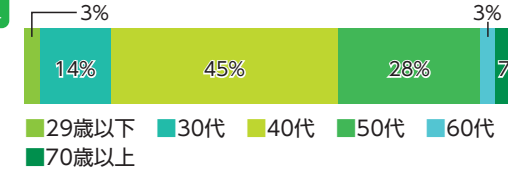
第104期中間株主通信で実施させていただいていましたアンケートにおきまして、お寄せいただきましたご意見・ご要望等は今後の会社経営およびIR活動に活かしてまいります。



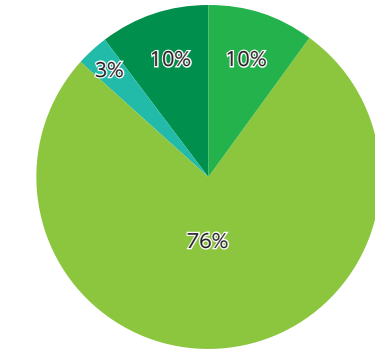
性別



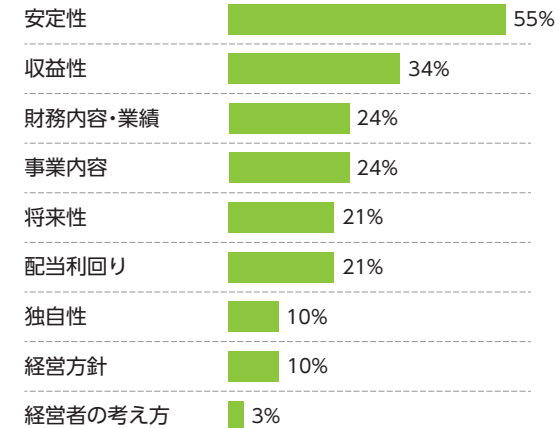
年齢



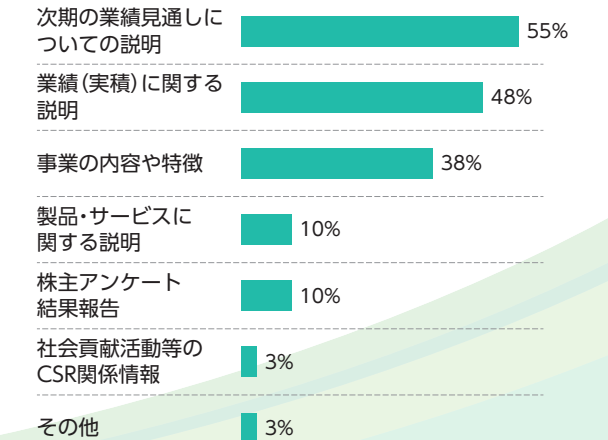
株式の保有方針



当社の株式を購入された理由は何ですか。
(複数回答)



今後充実を希望する情報をお選びください。
(複数回答)



株式の状況

株式の状況

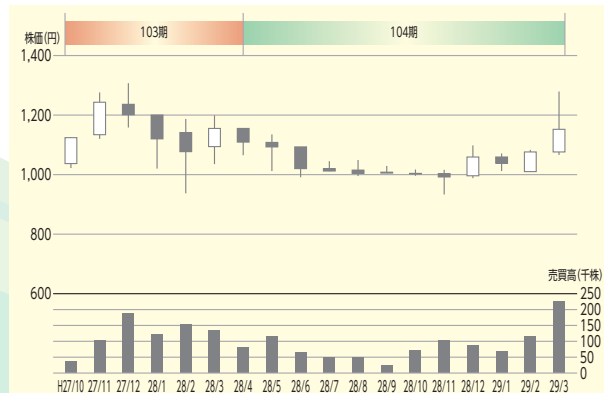
平成29年3月31日現在

(1) 発行可能株式総数	22,996,000株
(2) 発行済株式総数	5,749,000株
(3) 1単元の株式数	100株
(4) 株主数	952名
(5) 大株主	

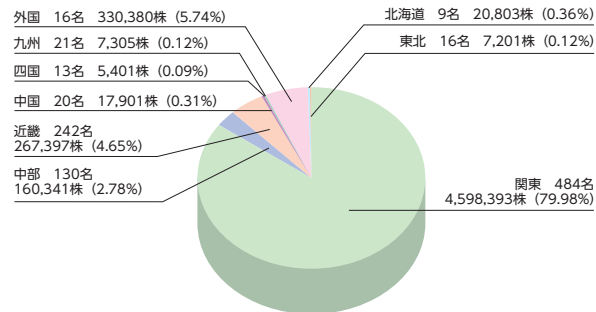
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
中村 巨宏	1,415	26.13
アサガミ株式会社	321	5.93
株式会社みずほ銀行	131	2.42
BBH	125	2.31
中村 千鶴子	120	2.22
三井住友信託銀行株式会社	110	2.03
中村 匡宏	101	1.87
清水 和枝	100	1.85
丸全昭和運輸株式会社	100	1.85
芦原 一義	98	1.81

(注) 持株比率は自己株式333千株を控除して計算しております。

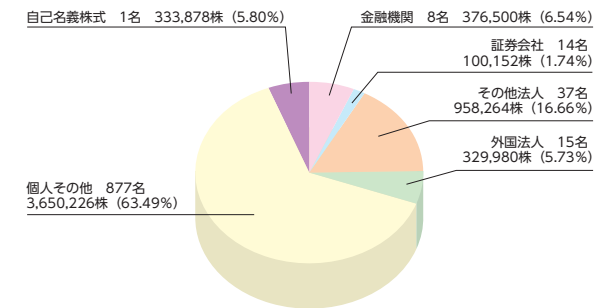
株価の推移



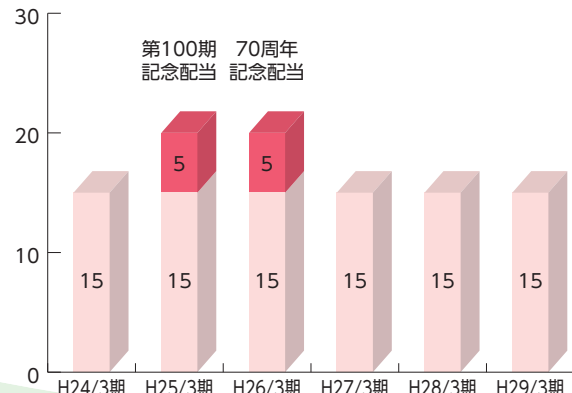
地域別分布状況表



所有者別状況表



配当金の推移



会社概要

会社の概要

平成29年3月31日現在

商号	東部ネットワーク株式会社 (TOHBU NETWORK CO.,LTD.)
設立年月日	昭和18年12月30日
資本金	5億5,303万1,250円
主要な事業内容	貨物自動車運送事業 商品販売事業 不動産賃貸事業 その他事業
従業員の状況	合計420名 (男性390名 女性30名)

役員一覧

平成29年6月28日現在

取締役社長 (代表取締役)	若山 良孝
専務取締役 兼専務執行役員 (代表取締役)	三澤 秀幸
取締役 兼執行役員	伊藤 進
取締役 兼執行役員	杉本 尚久
取締役 兼執行役員	古川 智洋
取締役	野口 誠
常勤監査役	高山 裕之
監査役	安齋 英明
監査役	西山 俊紀

(注) 1. 取締役のうち野口誠氏は社外取締役であります。
2. 監査役のうち安齋英明および西山俊紀の両氏は、社外監査役であります。

事業所

本社 〒221-0052
横浜市神奈川区栄町2番地の9 (東部ヨコハマビル)
045 (461) 1651



事業所

鶴見営業所	横浜市鶴見区
海老名営業所	神奈川県海老名市
相模原営業所	相模原市中央区
厚木営業所	神奈川県厚木市
相模原物流センター	相模原市中央区
郡山営業所	福島県郡山市
新潟営業所	新潟県新潟市
埼玉営業所	埼玉県深谷市
高崎営業所	群馬県高崎市
鹿島営業所	茨城県神栖市
習志野営業所	千葉県習志野市
袖ヶ浦営業所	千葉県袖ヶ浦市
静岡営業所	静岡県富士市
大井川営業所	静岡県榛原郡
名古屋営業所	愛知県一宮市
播磨営業所	兵庫県加古郡
東部北陸物流センター	富山県砺波市
北陸営業所	富山県砺波市
仙台営業所	宮城県仙台市
鶴見整備工場	横浜市鶴見区